

ザ・病気

【おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)と【反復性耳下腺炎】

【おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)とは、耳下腺や顎下腺など、唾液を作る組織が急に腫れて痛みや発熱を伴う、ムンプスというウイルスによる感染症です。

はじめは片側の痛みと腫れから始まりますが、およそ7割は1~3日遅れて反対側も腫れてきます。7~10日で治りますが、髄膜炎や難聴、睾丸炎、卵巣炎、肺炎、心筋炎など全身の合併症を来すことがあります。

ムンプスというウイルスの感染症は一生に一度だけなのですが、他にも耳下腺をおこすウイルス(サイトメガロウイルス、コクサッキー、パラインフルエンザなど)や細菌の感染症があります。

耳下腺のはれが慢性的な場合は、悪性腫瘍やシェーグレン症候群など自己免疫性疾患も疑われます。

頻度が高く、おたふくかぜとまぎらわしい病気が【反復性耳下腺炎】です。片側の耳下腺の痛みと腫れが急におこり、しかも繰り返します。ほとんどの場合発熱を伴わず、同じ側が腫れ、腫れ方も軽度で1~2日くらいで自然に腫れがひいてしまうことが多いのですが、1ヶ月以上持続することもあります。造影検査をすると、唾液管末端拡張症といって、唾液の流れ道が袋状に拡張しています。5~6歳頃に多く、10歳を過ぎると発症しなくなります。伝染性の病気ではないので登園や登校は可能なのですが、発病初期は区別が困難です。

【おたふくかぜ】の治療薬は特になく、解熱鎮痛剤で症状を和らげることしかありません。ワクチン接種で予防できます。



【反復性耳下腺炎】は発熱があつたり、腫れ方や痛みが強ければ抗菌剤を使用することもあります。軽症であれば特に必要ありません。

院長 岩屋美奈子

ワクチンのお知らせ

★インフルエンザ

今年度のインフルエンザワクチンは、昨年から流行した新型インフルエンザとA香港型、B型の3種類の混合です。当院では、例年通り10月中旬より開始予定です。

★日本脳炎第I期・II期

新しい日本脳炎ワクチンの接種が開始されました。

I期:3歳~7歳5ヶ月

II期:9歳~12歳 のお子さんで、予約は不要です。

ワクチンの時間内に母子手帳を持ってご来院下さい。



★二種混合(破傷風、ジフテリア) 11歳、12歳対象

このワクチンに限り冬、春、夏休みに期間を限定して接種しています。お休みに入る前に予約してください。

スタッフ紹介



星座 さそり座  
好きな食べ物 もも  
嫌いな食べ物 無し  
趣味 バドミントン

受付 富永 美若菜  
とみなが みわな

いわや小児科に勤めてもうすぐ1年になります。まだまだ覚えることも多く日々勉強中です。子どもが大好きで、毎日笑顔に癒されながら仕事ができて幸せです(^)お母様やお子様のサポートができるようこれからも頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



星座 山羊座  
好きな食べ物 ケーキ パスタ  
趣味 カフェめぐりと旅行

受付 前田 英美子  
まえだ えみこ

こちらに勤めてやっと半年達ちました。出産も子育ても未経験で分からないことがたくさんある中で、かわいい子供達の笑顔に癒され、楽しい毎日をごさせてもらっています。皆様にも少しでも元気になってもらえよう、明るく頑張ります。

知っておきたい豆知識

子どもの睡眠

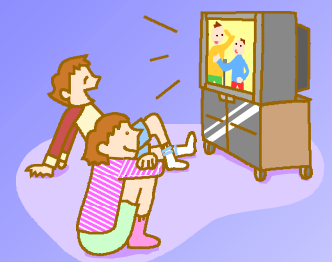
深い睡眠は成長ホルモンの分泌を促して、脳と体を成長させます。

この成長ホルモンが分泌されるのは夜の10時から夜中の3時頃まで、この時間を睡眠のゴールデンタイムと呼んでいるそうです。

その時間に起きていると成長ホルモンの分泌が減ってしまいます。

また、夜暗くなるとつられるのが抗酸化作用、抗ガン作用があり、人間の体を守るメラトニンというホルモンです。

このホルモンも子どもの頃にたくさん分泌されますが、光によって分泌が抑えられます。大人がちょっと我慢して、テレビや電気を消し、寝やすい環境をつくってあげましょう。夜遅くまで居酒屋やコンビニなどに連れ出して、強い光を浴びさせないで下さい。



早寝・早起きや食事、排便の習慣など規則的な生活リズムは子どもの身体だけでなく情緒の発達や安定に欠かせません。子どもの成長を促してあげるのは私たち大人の責任です。

